

事業番号	398
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	生涯スポーツ振興事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	スポーツ推進課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	スポーツ推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		19 スポーツ		1 市民総スポーツを推進する									
		副目的	19-2		19-3		19-4									
	予算区分	款	10		項	6		目	1		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	スポーツ振興計画														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	92 %			委託	8 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	生涯スポーツを通して体力づくりや健康保持への市民の意識の高揚を図る。														
	内容 (手段)	<p>スポーツへの関心、意識の高揚を図るため、観戦スポーツの誘致・開催を行うとともに、社会体育指導者の資質の向上のため、公認スポーツ指導員の養成講座などの研修の機会や講習会を開催します。</p> <p>[直接経費の内訳] シルバースポーツ大会開催委託(700千円)講師謝礼(255千円)消耗品(835千円) ※その他財源 スポーツ振興事業基金利子(12千円)プロ野球オープン戦入場券取扱い手数料(5千円) ○24年度実施内容 23年度と同様に実施する。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,930	7,039	7,861	8,693	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	9,993	8,102	8,924	9,756	
	対前年比	%		81.0	110.1	109.3		
財源	一般財源	千円	9,951	8,072	8,909	9,740		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	42	30	15	16		

業	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	プロ野球オープン戦	回	目標		1	1	1
実績				1	1	1	
公認スポーツ指導員養成講座	回	目標		1	1	1	1
		実績		1	1	1	
業	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
			プロ野球オープン戦	人	目標	6,400	6,400
績	プロ野球オープン戦	人	実績	4,755	4,525	4,858	
			公認スポーツ指導員養成講座	人	目標	30	30
			実績	31	30	30	

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	プロ野球オープン戦、公認スポーツ指導員養成講座とも目標の回数を実施できた。
		事業実施における課題等	公認スポーツ指導員養成講座は毎年2月ぐらいに実施しているが寒い時期でもあり、参加者の確保に苦慮している。プロ野球オープン戦は前売り券の販売が伸びない。
		事業を縮小・廃止したときの影響	毎年プロ野球オープン戦を楽しみにしている方が多い。また車椅子で直接入れる場所があるため、名古屋ドームまでいけない身障者の方にも大変好評であり、事業を廃止した場合プロ野球を球場で観戦する機会がなくなる。公認スポーツ指導員養成講座もスポーツ指導員にとって知識を習得するために必要であり、廃止した場合指導員としての知識を得る機会が少なくなる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
	判定理由	プロ野球の誘致は市民に対して好評であるが、開催冠料が500万円と高額なためもう少し低い予算で誘致ができるようドラゴンズ側と交渉していきます。公認スポーツ指導員養成講座はスポーツの指導者を目指す方にとって専門知識を習得してもらえる講座でもあり今後も継続していきます。	
	改善案等	プロ野球オープン戦についてはドラゴンズと交渉して人気カードを誘致できるようにするとともに、PRに努める。 また公認スポーツ指導員養成講座は一部内容を変更してスポーツをすることのみでなく、開催時期の変更や、健康面からの講義も取り入れスポーツドクター等を講師に招くなどについて検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。